## 平成28年度事務事業評価シート(一般事務事業用)

一般会計【茅野市】

事務	事業	名	広域連合で	の共	同処理	事業	ţ									事業期	間	平成	1	2	~		年月	度	整理	里番号	010	040105
担担	当部	署	企画総務部			11	運戦	略課			政策1	企画係	Ē.			作成担	当者	名		=	井		潤		連	絡先		157
								政	策	06	第65	章 住	民自	治の	しくる	みづく	IJ											
	市	民	プランに	4	Th. ^	+ I+		施	策	08	第81	市広	域行	政の	推進													
			位置づけ	有	以5	策 体	<b></b>	細力	拖 策	01	広域	行政事	務の	充実														
								事務	事業	01	広域	連合で	の共	同処	理事	务												
計	予	算	事 業 名																		001							事業 02
画	事利(簡:	多事	· 業 <b>の</b> 概 要 <sup>()</sup> かりゃすく)								「広域 域連合							<b>特別</b>	菱護:	老人	、ホー	<b>.</b>	救護	施言	登の	設置	及び道	E當、
			と 背 景うして)	源σ		اح 🎞	なるД	域体	制の動																			i限や財 と質的
	目	対	受 益 者 (誰のために)	市区																								
P		象	対象 (直接働きかける)		市町																							
	的	(どん	意図な状態にしたいか)								、事務																	
L			・ 方 法 やって)								る市町 る事務				まする	事務の	)検	付を	うい.	. そ	· の市	町村	の護	会と	上広	域連	合議会	きの議決
			行政活動の	結果:	からこ	つくり	だす	ものに	は何?	指	標	名	称	j	単 位	算出	方法	<u></u>	+算:	式·	目標	値設	定σ	)考	えブ	らなど	最終	目標値
Ν	評	活動	広域連合で	共同	処理す	る事	務の	検討		検討:	会議数					広域 の検			委,	会	、広	或計画	可策》	定幹	事:	会で		*
	価指	指標																										
	標の																											
	作	成	成 果	•	効	果	は	何	?	指	標	名	称	j	単 位	算出	方法	<b>₹・</b> i	†算:	式·	目標	値設	定σ	)考	えブ	ちなと	最終	目標値
	成	果指	諏訪広域連	合が	処理す	<b>⁻る</b> ≢	務の	数		共同	事務数				事務	市民 を増					広域: とを							増加
		標																										

		頁	目	単位	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度(予算 又は決算額)	平成29年度 事業計画(予算)
	=	事業費等	(a)	円	22, 611, 137	30, 683, 567	31, 331, 192	31, 949, 458	31, 965, 000
	財	国庫支出	金	円					
実		県 支 出	<u>金</u>	円					
~	源	地方	債	円					
	内	その他特定財		円					
	訳	一般財		円	22, 611, 137	30, 683, 567	31, 331, 192	31, 949, 458	31, 965, 000
施		正規職	員		0. 03	0.03	0.03	0.03	0.03
nes-	職		 員	ᄉ	0.00	0.00	0.03	0.03	0.03
	員	嘱 託 職		人					
	数	臨 時 職	員	ᄉ	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
状		合	計	人	0. 03	0. 03	0. 03	0. 03	0. 03
	7		数						
			(b)						
	È	1 —	(b)	円	_	_	_	_	_
況		受益者負担	額	円					
	Ī	市民一人当たりのコス		円	403. 00	548. 00	562. 00	576. 00	581. 00
			目標	<u> </u>					
		検討会議数	実績	Ш	5				
$\overline{}$	活		達成率	%	_	_	_	_	_
	白		目標						
	動指	_	実績	_					
_	指		達成率	%	_	_	_	_	_
D	標		目標						
		_	実績	_					
			達成率	%	_	_	_	_	_
0									
	成	共同事務数	目標実績	事務	15	15	16	16	16
	単	7 N T 13 3X	達成率	%					
	果指		目標	70					
<b>)</b>	標	_	実績	_					
	尓		達成率	%	_	_	_	_	_
		※洋動物種については			5最終目標値は設定し				
	備	※活動指標については、	てのじ	こ見かい	)取代日保他は改正し 松製会業券 UNIのは	・ない。 2014年 - 本ル人間			
		H24の検討会議実績:恋.	月社の	大昌16	快討芸護戦、□2500美	:横:消防一兀化企画	調金砂云、		

		業名 広域道		大问处理							期間口平		~		整理番号	
担	当 部	图 企画和	8務部		企画	戦略課		政策企画係		作成	担当者名	<b>=</b>	井	潤	連絡先	157
	期			目標				<b>\$</b>	: 績					課	題	
	741			<u>п</u> тж				^	. 192					HAT.	K2	
		共同処理で										rt teb es to	1388-1-12	2 車 致 太 栓	計士ス合業	は開かれな
疋		び実際共同			例につ!	いて検討す	ト 広域担当	4課長会へ出席	•			かった。	:·里 9 1	の手物で快	119の大阪	は用かれいみ
	期	る会議等へ	▶参加する	5								13 3120				
半		共同処理										rt teb 75 At	138	2. 車 致 大 烃	計せる会議	は開かれな
		び実際共同			伤につ!	いて検討す	「   広域担当	4課長会へ出席	•			かった。	7	7 13 C 17	(B) 7 O 24 (B)	PO DE WEST OF
	期	る会議等へ	▶ 参加する	Ď								N 5120				
期																
	第	共同処理	ナる事務の	の検討す	る会議	等へ参加	及		_			諏訪広り	(連合	次期戊域調	計画策定に向	りけた検討が
		び実際共同	引処埋して	こいる争れ	勝につ	いて検討す		当課長会へ出席	•			必要				.,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,
ij	期	る会議等へ	<b>`19</b> >/µ9 €	ð												
	**						_									
		共同処理						<b>火器 医人 。 山</b> 庄				諏訪広均	連合	次期広域言	計画策定に同	りけた検討が
۲		び実際共同る会議等へ			房につ	いて快割り	)  仏嶼担目	当課長会へ出席	•			必要				
	州	A REAL	**************************************	<u> </u>												
								事 中	評	価						
Ø	当生	<b>年度開始後</b>	、約6.4	月が経	渦1.	新たに生	じた問題占	や環境の変化		 戊 拡	充			1.	<b>6</b>	(7)
		な変動はな		, , , , , <sub>11</sub>	_	.,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,		>,->,->,-		以 払 果 <u></u>	兀		2		5	7
Autoc										り 現状	維持		3		⑥ レ	9
管									_	<u> </u>	ds		•		<u> </u>	400
									1001	7 縮 句	小		4		8	10
理		新年周	医の実施	計画・-	予算要	求事項(	(改革・改割	善り (美麗)			廃 止	1				
理									向		$\overline{}$	HK 14	٠ ٧٠	, l.	TD J I V V ++	1+ 1
												皆 源	縮		現状維持	拡大
									性			コフ	くト	投入	の方	向 性
	Ī	評価年度		当年度												
	袳	見点	妥	当	4	性	有	効 性		効	率	性		総合	計 評 価	判定
- Acres	評価	面の観点	1 2	3	4	判定	1 2	3 4	判定	1	2 3	4	判定		_	
評	チ	ェック		V		3		V	3		V		3		В	
											l l			A : i	計画どおり事	業を進めるこ
														記	とが適当	
価	課															に改善が必要 容・実施主体
															カネスパス でい ひ見直しが必	
$\overline{}$															事業の統合、 対が必要	休・廃止の検
	題														80か必要 8合評価判定	? B
С																号 01040106
н		紐	1	施	策	評	価	前		細	施	策			価	後
- 1	総		· · · · · ·						ᄷᆥᅑᇎ					評しなる		
Е	.140-		をはべ 州	ム塚町 四 歯連合の	100 東ル	と、てれに D.具体的な	- 円 ブル塚建	!合規約の変更 われなかった	ハーナル	な20十段に	5次期以4	英間 囲い牙	にた。	とれいこ 日で	1仏像建立を 1しは行わえ	に耐い支生が
_	合	0,5 7,2,0 0	MAN IN STATE	W. L L	7-100	,,,,,,,,,	- June -	1210000	٠ [ "	,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,		_ H + 1.	,	1.43.0.30	2010/11/04	
С																
	評															
K																
	価				-											
<u> </u>		前年月	度 改 革	• 改	善策	きの 実	施 状 況		前	年度細	施 策 評	価におし	ナる←	う後の方	「向性	
改	価	前年月		· 改 施	善策	での 実	施 状 況 📶	前	前	年度細	施 策 評	価におり		今後の方	· 向性	後
改革	価	細	1 1			評	価			細	施					後
革・	価	<b>組</b> 成 <sup>打</sup> 里	<b>]</b>			<b>評</b> ②	<b>価</b> ⑤ L	<b>7</b>	成	<b>細</b> . 拡	<b>施</b> 充					後
革・	価 今 後	<b>組</b> 成 <sup>打</sup> 里	1 1			評	価			<b>細</b> : 拡	施					後
革・改善	価今後の	成果の方	<b>]</b>			<b>?</b> 3	価 ⑤ L ⑥	<b>7</b> 9	成果の方	<b>細</b> 拡 現り	<b>施</b> 充					後
革・改善	価 今 後	成果の方向	M	施		<b>評</b> ②	<b>価</b> ⑤ L	<b>7</b>	成果の方向	<b>細</b> 拡 現り 縮	充統維持小					後
革・改善の方向	価今後の	成果の方向	<b>]</b>	施 ①	策	# 2 3 4	価 ⑤ L ⑥	<ul><li>⑦</li><li>⑨</li><li>⑩</li></ul>	成果の方	<b>細</b> 拡 現り 縮	充土	<b>策</b>			価レ	後
革・	価今後の方向	成果の方向	M	施		<b>評</b> ② ③ ④	価 ⑤ L ⑥ ⑧	グ ⑨ ⑪ 排 拡 ブ	成果の方向性	<b>細</b> 拡 現り 縮	充統維持小			評	現状維持	拡大
革・改善の方向性(	価今後の方向性	成果の方向	版 充 見状維持 宿 小 木 廃 止	<b>施</b> ① : : : : : : : : : : : : : : : : : :	<b>策</b> 減 コ ス	<b>評</b> ② ③ ④	価 ⑤ L ⑥ ⑧ 別 切 現状維 入 の 5	グ ⑨ ⑩ 持 拡 対 対	成果の方向性	<b>細</b> 拡 現状 縮 休	充	皆減コ	縮スト	評	価 レ 現状維持 の 方	拡大向性
革・改善の方向性(A	価今後の方向	成果の方向性を	版 充 見状維持 宿 小 木 廃 止	施 ① 皆	<b>策</b> 減 コス <b>多事</b>	評 ② ③ ④ 縮 ト 投 <b>Šを増加</b> さ	価 ⑤ L ⑥ ⑧ 別状維 入 の ご	ク ⑨ ⑪ 持 拡 ブ 方 向 性 広域行政の充	成果の方向性	細拡り線には、現りには、大力をは、大力をは、大力をは、大力をは、大力をは、大力をは、大力をは、大力を	施 充 注維持 小 秦 止	皆っる	縮スト	評 小 、 投 入	価 レ 現状維持 の 方 5 ことが広場	拡 大 向 性 【行政の充実
革・改善の方向性(AC	価今後の方向性	成果の方向性がずつながにながったができます。	は 充 見状維持 宿 小 木 廃 止	施  ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	策 コ る 事 ほ	評 ② ③ ④ 縮 / 投 <b>Sを増加</b> さ ランで	価 ⑤ し ⑥ ⑧ 小 現状維 入 ことが では広域連合	ク ③ ① が が が が が が が が が が が が が	成果の方向性	細拡 現状 縮 休 し	施充 充 注維持 小 廃止 は連合でない は は 限らが	策 皆 词 <b>処理する</b> ず ないが、†	縮ト <b>液を</b> す	評 小 入 <b>曽加させる</b> ランではD	価レレ現状維持の方とが広域連合が処	拡 大 向 性 成行政の充実 L理する事務
革・改善の方向性(ACT	価今後の方向性改	## が 成果の方向性 がつ数にの数を増加	は	施  ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	策	評 ② ③ ④ 縮 ト 増加 で も よ り の し も も り し り も り も り も り も り も り も り も り	価 ⑤ ⑥ ⑧ 別状維 大ることが は広域として 単指標として	ク ③ ・ ① ・ ① ・ 放 性 ・ 広域の充事 ・ なが理する。 ・ は がいる。	成果の方向性というでき	細拡現状 箱 体 しもが 域を 増加なる しなる しなる しなる しなる しなる しなる しなる しなる しなる し	施 充 充 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	策 皆 コる・it はがまち	ス <b>務を</b> プリ	評 小 投させる ラン目標指 の	価 レ 現状維持のがなった。 は連合がなる はまったがない ほうしている はまま しゅうがん ないまま しゅうかん ない そうしゅう しゅう しゅう はい しゅう しゅう はい しゅう	拡 大 向 性 成行政の充実 3 5。広域連合
革・改善の方向性(ACTI	一 一 今後の方向性改革・	成果の方向性がずつながにながったができます。	は 京 京 京 京 京 京 京 京 京 京 京 京 京 京 京 京 京 京 京	施 ① 皆 理いがまいがまいがまます。	策るでは、大学のでは、それらいは、まりには、まりには、まりには、まりには、それらいは、まりには、それらいは、まりには、それらいは、まりには、まりには、まりには、まりには、それらいいは、それらいいいは、それらいいは、それらいいは、それらいいいは、それらいいは、それらいいは、それらいいは、それらいいは、それらいいいいは、それらいいは、それらいいは、それらいいいいは、それらいいは、それらいいは、それらいいいいいいは、それらいいは、それらいいは、それらいいいいは、それらいは、それらいいは、それらいは、それらいは、それらいは、それらいは、それらいは、それらいは、それらいは、それらいいいは、それらいいは、それらいいは、それらいいは、それらいは、それらいいは、これらいは、これらいいは、これらいいいは、これらいいい	評 ② ③ ④ 縮 ト 増 カン は の は り は し は り は し り し り し り し り し り し り し	価 ⑤ ⑥ ⑧ 現状能 対入る は複とと連 はでは複とに関	ク ③ ① が が が が が が が が が が が が が	成果の方向性というで、養物のののののののののののののののののののののののののののののののののののの	細 拡 現 り は る は る は る は る る る る る る る る る る る る	施 充 充 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	策	な 移足りの広	評 クロード かり	価 レ 現状維持 が合いがいる はまま できません はまま できまま はまま はまま はまま できまま はまま できまま はまま しゅう できまま しゅう できまま しゅう できまま しゅう	拡 大 成 で 大 で 大 で 大 で 大 で 大 で 大 で 大 で 大 で 大
革・改善の方向性(ACTIO	価 今後の方向性 改革・改	## 対 : : : : : : : : : : : : : : : : : :	は 大統一 本 は は は ない 事 ない ない ない ない ない ない ない ない は いっかい	施	策 コーペミカ・カー ス・ネーラ は ス・ネーラ は 後 等	部② ② ③ ④ 縮ト増かショウの域である。 を受けり広域である。	価 ⑤ ⑥ ⑧ 現状能 対入る は複とと連 はでは複とに関	ク ③ ・	成果の方向性というできない。	細拡現りになり、はないでは、はないでは、ないでは、ないでは、ないでは、ないでは、ないでは、ない	施 充 注維 小 止 でいた でいた でいた でいた でいた は 連 には は に は 速 に は 速 に は 速 に は 速 企	策 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	福ト をごりはち	評 ・ 首ラ ・ 対 ・ で標本の ・ ででで ・ でで ・ で ・ で ・ で ・ で ・ で	価 レ 現状維持 が合いがいる はまま できません はまま できまま はまま はまま はまま できまま はまま できまま はまま しゅう できまま しゅう できまま しゅう できまま しゅう	拡 大 成 で 大 で 大 で 大 で 大 で 大 で 大 で 大 で 大 で 大
革・改善の方向性(ACTI	価   今後の方向性 改革・改善	## 対 : : : : : : : : : : : : : : : : : :	は 大統一 本 は は は ない 事 ない ない ない ない ない ない ない ない は いっかい	施	策 コーペミカ・カー ス・ネーラ は ス・ネーラ は 後 等	部② ② ③ ④ 縮ト増かショウの域である。 を受けり広域である。	価 5 し 6 8 現 の と連しに関する は 標 推 で が合く に関する は 様 は 市 町 村 の に 関	ク ③ ・	成果の方向性というできない。	細拡現りになり、はないでは、はないでは、ないでは、ないでは、ないでは、ないでは、ないでは、ない	施 充 注維 小 止 でいた でいた でいた でいた でいた は 連 には は に は 速 に は 速 に は 速 に は 速 企	策 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	福ト をごりはち	評 ・ 首ラ ・ 対 ・ で標本の ・ ででで ・ でで ・ で ・ で ・ で ・ で ・ で	価 レ 現状の とは がかい ない は と に に 関 せ に に 関 せ と に に 関 せ と に に 関 せ と に 数 せ た は が ない す と し な かい す と し	拡 大 成 で 大 で 大 で 大 で 大 で 大 で 大 で 大 で 大 で 大
革・改善の方向性(ACTION)	価   今後の方向性   改革・改善策	## 対 : : : : : : : : : : : : : : : : : :	は 見状維持 小 止 合限るにもずんばいるめのががががいます。	施	策 コース・ミュース・ス・ラン・ス・ス・ス・ス・ス・ス・ス・ス・ス・ス・ス・ス・ス・ス・ス・ス・ス	評 ② ③ ④ 縮ト増ラの域通じて がある。 がある。 がある。 がある。 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	価 5 し 6 8 現 の と連しに関する は 標 推 で が合く に関する は 様 は 市 町 村 の に 関	ク ③ ・ (III) ・ (I	成果の方向性というできない。	細拡現りになるとは、はなりである。	施 充 注維 小 止 でいた でいた でいた でいた でいた は 連 には は に は 速 に は 速 に は 速 に は 速 企	策	福ト をごりはち	<b>評</b>	価 レ 現状維持 5 こと 連連 とに関村い は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、	拡 大 成 で 大 で 大 で 大 で 大 で 大 で 大 で 大 で 大 で 大

一般会計【茅野市】

事務	孫事業名   多様な事務協働処理・広域連携推進事業   当 部 署   企画総務部   企画戦略課   政策企画係													事業	期間	平成	20	~		年度	整理番号	01040119	
担:	当部	署	企画総務	部			企画	戦略課			政策企	画係			作成	担当	者名	原	Ħ	和	樹	連絡先	152
								政	策	06	第6章	住.	民自治	のしく	(みづ	くり							
	市。	民:	プラン	に有	πh	<u> </u>	H 7	施	策	08	第8節	広	<b>或行政</b>	の推済	Ė								
	おり	ナる	位置づ	け	政	、 朿 '	体 系	細	施策	02	広域連	携事	業の推	進									
								事務	務事業	02	広域連	携の	調査・	研究	業								
計	予	算	事業	_														· コート				項 01 目	06 事業 02
画			·業の概 っかりゃすく	要	学公の	の連	<b>莠、広</b>	域観光	七、道路	各整備	など、位	域で	連携で	するこ	とによ	. <b>9</b> .	一層(	の効果	が見る	<b>∆</b> める	事務事	漢について	(調査研究を
	IB	412	と背景	<b>諏</b>	訪地:	域は、	、住民	の日常	的な生	E活、i	産業経済	分野	におし	ハて、	市町村	区域	を越	えた活	動が行	<sub>うわれ</sub>	ている	。また、住	主民や企業等
			こりま	( 0)	=-	ズも	<b>広域化</b>	すると	2 4!	こ、高	度化・多	様化	して	きてい	る。相	市間	競争	が激し	くなる	5中で	、「調	訪ブラント	*」のもとで
~		_		趣		域の	生果和	<b>済張</b> 男	4、広	東追路:	整備など	を区	ってし	いく必	要かる	<u>්රිං</u>							
	目	対	受益 きんきゅう	н .	<b>X</b>																		
			対象	市	民、	諏訪!	広域連	[合、]	<b>【係市</b>	订村													
Р		象	<b>X)</b> 多 (直接働きかけ																				
•	的	(どん	意図 な状態にしたい	か) <b>域</b>	計画	に反	吹させ	、広坞	<b>連携</b> (	の推進	を図る。												方広域連合広
L			・ 方 ½ やって	去							域行政にを研究し							がって	いる。	きのを	諏訪区	域連合と前	番をし、諏訪
			行政活動	の結果	から	っつく	りだる	すもの	は何?	指	標	名	称	単(	立算	出方:	法・言	†算式	・目	票値割	足定の着	きえ方など	最終目標値
		活動	事務事業	の広場	連携	の調	査・	研究		調査	・研究										必要性 ・研究	や効果を	*
N	評価	動指														<b>*</b>		1 NK 1 1 2 P	313 €		19176	7 0 0	
	指	標													_								
	標																						
	の 作	成	成	₽ ·	玅	」 集	! は	何	?	指	標	名	称	単(	立算	出方	法・言	十算式	・目	票値割	定のを	きえ方など	最終目標値
	成	果	広域で連	携して	行う	事務	事業の	の増加		広域i	車携事務	事業			広	域で	車携し	,て行 <sup>-</sup>	事務	事業	の増加	した数。	*
		指												1									
		標								<u> </u>													
										•													

	J	頁	目	単位	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度(予算 又は決算額)	平成29年度 事業計画(予算)
	3	事業費等	(a)	円				> (101)/(91-10X/)	TANIE (137)
-	財	国庫支出	金	円					
		県 支 出	金	円					
~	源	地方	債	円					
	内	その他特定財	源	円					
	訳	一般財	源	円					
施	職	正規職	員	人	0. 01	0. 01	0. 01	0. 01	0. 01
		嘱託職	員	人		****	****	****	
	員	臨 時 職	員	入					
al B	数	合	計	人	0. 01	0. 01	0. 01	0. 01	0. 01
状	3	対象 (者)	数						
	3	延利用(者)数	(b)						
	<u>1</u>		(b)	円	-	_	_	_	_
況		受 益 者 負 担	額	円					
	Ī	市民一人当たりのコス		円	-	_	•	_	1.00
			目標						
		調査・研究	実績		1	1	1	2	2
	活		達成率	%	-	_	-	_	_
	動		目標	_					
	動指	_	実績						
D	標		達成率	%	_	_	_	_	_
	示		目標	_					
		_	実績						
			達成率	%	_	_	_	_	_
0	-		目標	_				_	
	成	広域連携事務事業	実績		1	1	4	5	3
	果北		達成率	%	-	-	-	-	_
)	指		目標	_					
	標	_	実績	0/					
			達成率	%	ー マオスニレけ性質トガ		_	_	_

備 | 活動指標、成果指標とも目標値を設定することは性質上なじまない。 | 平成28年度の調査・研究、広域連携事務事業は、縄文文化に係る日本遺産登録に向けた取組と諏訪東京理科大学の公立化に向けた取組。

担		集名 多根							-	# 人 三 5			事業期間	_	1	~		年度			0104	<u> </u>
Ė	当部	者□□□	総務部	\$		1E	戦略課		収	策企画係		ľ	作成担当	百名	原	<u> </u>	和	個	連絡	尤	Į.	52
	期			E	標						実 績	į						課	題			
	第																					
四	- 1																					
	期																					
	<i>/*/</i> *																					
半	第 2																					
	期																					
期	743																					
	第																					
	3																					
נו	期																					
	第																					
۲	4																					
	期																					
									1	事 中		F A	6									
の	当年	丰度開始	後、約	6 ታ ፆ	目が経:	過し、	新たに	生じた	問題点や		112			÷		2	<u> </u>	Œ	i) L	. (	<b>7</b>	
											<u> </u>   今	果				<u>i</u>				j		
管											後	の <sup>i</sup>	見状維持	寺		(3	)	Œ	<b>)</b>	(	9	
											の	方	宿 /	JN .		4	D	(8	3)	(	10	
_		新年	度の乳	に を に と に と に と に と に と に と に と に と に と	画・-	予算要	求事項	(改革	車・改善策	₹)	方	向	木廃」	F C	D							
理												' <u></u>	·1· //c	$\overline{}$		<u> </u>	<u> </u>	d T			14	
											向		/						見状維		拡	大
											性	/			⊐	ス	ト投	入	の	方	向	性
		15 /15 / <del>1</del> 5 <b>cb</b>		31																		
	_	評価年度			年度		kф		+	÷1	사		÷L	<del>ವ</del>	ılı	L	41.	\	=π	/III	Mal	_
	- 存	• ••••	4 1	妥	当		生				性		効	率	性		総	合	評	価	判	定
評		の観点	- 1	2	3	4	判定	1	2 :	3 4	判定	.   '	2	3	4	判定	_		<i>p</i>	4		
		ェック	1	L 4 10-	<b>60 I.</b> I		4	-		-11720	4	LL 88 1	- 40 to da	<u> </u>	n de de de de	4		Λ . <del>-</del> 1	画どお		t. 4	ж z -
		地方側5	こうのほ	がである。	粗とし援(州	・て、ル	A 嗅速损 F 推准交	ラモル 付金な	パ増えてき ょど)が終	ているか アレた後	、中町の	州间で の継続が	以粗I〜刃 が課題で	「する <i>」</i> ある。	温度差7	כשינ	記	ے	が適当			
価																	号	B:事	業の進			が必要
	課																മ			• 内穴	?. T	協士休
	課																定	C:事	業規模 見直し	が必要	Ī	
																	定	C:事 の D:事	業規模 見直し 業の統	が必要	Ī	
С	課題																定義	C:事 の D:事 討	業規模 見直し	が必要 合、休	Ī	
С																	定義前年	C:事 の D:事 討 手度総	業規模 見直し 業の統 が必要	が必要 合、休 i判定	· ·廃	止の検 A
С	題		細	施		策	i	Ŧ	価	前		*	<b>II</b>	施	ş	<b>策</b>	定義前年	C:事 の D:事 討 手度総	業規模 見直し 業の統 が必要 合評価	が必要 合、休 i判定	· ·廃	止の検 A
н	題総総	今後、Д	域連携	まは重	要性を	増して	こいくと	考えら	oれる。			後、広	域連携に	は重要	性を増	してし	定義前の前年がくとま	C:事の事計 E度評価 <b>きえら</b>	業見業が合っ 価も	が必要 合、体 i判定 理番号	· 廃 · 010	止の検 <b>A</b> 040137
	題総	今後、IZ 広域連携	域連携事業が	は重	要性を 性のも	増してのとな	こいくと よらない	考えら よう、	られる。 先を見据		設   広	後、広域連携	域連携に 事業が-	は重要 −過性	性を増 のもの	してし	定義前の部といるない。	C: D: 度 評価 <b>を持たる</b>	業見業が合とした。人生を持し統要には、本権の必要にある。人性のでは、これをは、これをは、これをは、これをは、これをは、これをは、これをは、これを	が必要 合、体 i判定 理番号	· 廃 · 010	止の検 <b>A</b> 040137
H	題総	今後、Д	域連携事業が	は重	要性を 性のも	増してのとな	こいくと よらない	考えら よう、	られる。 先を見据		設   広	後、広域連携	域連携に	は重要 −過性	性を増 のもの	してし	定義前の部といるない。	C: D: 度 評価 <b>を持たる</b>	業見業が合とした。人生を持し統要には、本権の必要にある。人性のでは、これをは、これをは、これをは、これをは、これをは、これをは、これをは、これを	が必要 合、体 i判定 理番号	· 廃 · 010	止の検 <b>A</b> 040137
н	題総	今後、IZ 広域連携	域連携事業が	は重	要性を 性のも	増してのとな	こいくと よらない	考えら よう、	られる。 先を見据		設   広	後、広域連携	域連携に 事業が-	は重要 −過性	性を増 のもの	してし	定義前の部といるない。	C: D: 度 評価 <b>を持たる</b>	業見業が合とした。人生を持し統要には、本権の必要にある。人性のでは、これをは、これをは、これをは、これをは、これをは、これをは、これをは、これを	が必要 合、体 i判定 理番号	· 廃 · 010	止の検 <b>A</b> 040137
H	題総合評	今後、IZ 広域連携	域連携事業が	は重	要性を 性のも	増してのとな	こいくと よらない	考えら よう、	られる。 先を見据		設  広	後、広域連携	域連携に 事業が-	は重要 −過性	性を増 のもの	してし	定義前の部といるない。	C: D: 度 評価 <b>を持たる</b>	業見業が合とした。人生を持し統要には、本権の必要にある。人性のでは、これをは、これをは、これをは、これをは、これをは、これをは、これをは、これを	が必要 合、体 i判定 理番号	· 廃 · 010	止の検 <b>A</b> 040137
HEC	題総合	今後、広 広域連携 計、各市	域連携 事業力 可村の	ら ドー過 ) 役割	要性を 性のも 分担等	増して のとな の検言	さいくと ならない 対 <b>が必要</b>	考えら よう、 になる	される。 先を見据 S。	えた事業	設は計	後、広域連携、各市	域連携に 事業が一 町村の私	は重要 一過性 役割分	性を増 のもの ・担等の	してい となら 検討か	定義前年がくない。	C: B:	業見業が合 レー・れた。 規直の必評 トー価 るを し続要価 整 。見	が必要 合、体 i判定 理番号	· 廃 · 010	止の検 <b>A</b> 040137
HECK)	題総合評	今後、広域連携計、各市 前 年	度 改	は (本 ) (本 ) (本 ) (本 ) (本 ) (本 ) (本 ) (本	要性を 性のも 分担等 ・ 改	増して の検	さいくと ならない 対が必要 で の 実	考えら、	られる。 先を見据 5。 状 況	えた事業 未 実	設は計	後速携	域連携に 事業が一 町村の登 細 施 策	は重要 一過性 と割分 評価	性を増 のもの ・担等の	してい と 検討が ける	定義前年のでは、一方では、一方では、一方では、一方では、一方では、一方では、一方では、一方	C: B:	業見業が合った。 向規値の必評ト価のるを性模し統要価整 。見	が合、料定理番号	· 廃 010 後 た事	止の検 <b>A</b> 040137
H E C K )	題総合評	今後、広域連携計、各市 前 年	域連携 事業力 可村の	ら ドー過 ) 役割	要性を 性のも 分担等 ・ 改	増して のとな の検言	いくない要の事	考えら、	される。 先を見据 S。	えた事業	設は計	後、広域連携、各市	域連携に 事業が一 町村の登 細 施 策	は重要 一過性 役割分	性を増 のもの ・担等の	してい となら 検討か	定義前年がくない。	C: B:	業見業が合 レー・れた。 規直の必評 トー価 るを し続要価 整 。見	が合、料定理番号	· 廃 · 010	止の検 <b>A</b> 040137
HECK)	題総合評価	今後、原 体 体 体 体 体 体 体 体 体 体 体 体 体 体 体 体 体 体 体	度 改	は (本 ) (本 ) (本 ) (本 ) (本 ) (本 ) (本 ) (本	要性を 性のも 分担等 ・ 改	増して の検	さいくと ならない 対が必要 で の 実	考えら、 とになる 施 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	られる。 先を見据 5。 状 況	えた事業 未 実	施順	後域、年度	域連携に 事業が一 町村の登 細 施 策	は重要性分配を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を	性を増 のもの ・担等の	してい と 検討が ける	定義前年のでは、一方では、一方では、一方では、一方では、一方では、一方では、一方では、一方	C: B:	業見業が合った。 向規値の必評ト価のるを性模し統要価整 。見	が合、料定理番号	· 廃 010 後 た事	止の検 <b>A</b> 040137
H E C K ) 改革·改	題総合評価今後	今 ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) (	度 改	<ul><li>は重過</li><li>か</li><li>本</li><li>施</li><li>充</li></ul>	要性を 性のも 分担等 ・ 改	増して の検	Cいくというない。 Strict が必要	考える。に施施	たを見据 たを見据 な。 状況	えた事業 <b>未 実</b> 前	施	後域、	域連携に 事業が一 町村の私 細施策	は重要性 辞 を かん を かん と かん と かん と かん と かん と かん と かん	性を増 のもの ・担等の	してい と 検討が ける	定義前年のでは、一方では、一方では、一方では、一方では、一方では、一方では、一方では、一方	C: B:	業見業が合しれた。向規値の必評ト価値るを性値に統要値整。見	が合、料定理番号	· 廃 010 後 た事	止の検 <b>A</b> 040137
H E C K )改革·改善	題総合評価今後の	今後、加減を が域を 前 成果の	度	<b>は「過割</b> 革 <b>施</b> 充 詩	要性を 性のも 分担等 ・ 改	増して の検	いくと いらない すが必要 ② ③	考えらな 施	5れる。 先を見据 5。 状 況 価 ⑤ レ ⑥	えた事業 未 実 前 ⑦ ⑨	施	後域、 な携市 皮	域連携は 事業が一部 細施 施 策 は拡 現 状維持	<b>重要性分</b>	性を増 のもの ・担等の	してい と 検討が ける	定義前年のでは、一方では、一方では、一方では、一方では、一方では、一方では、一方では、一方	C: B:	業見業が合しれた。向規値の必評ト価値るを性値に統要値整。見	が合、料定理番号	· 廃 010 後 た事	止の検 <b>A</b> 040137
H E C K ) 改革·改善	題総合評価今後	今後連名 年 成果の方向	域連 業 (本 東 村 の と の は 、 の は の は の の の の の の の の の の の の の	は重過割 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	要性をも分担等・改	増して の検	Cいくというない。 Strict が必要	考えらな 施	が <b>大を見据</b> **  **  **  **  **  **  **  **  **	えた事業 <b>未 実</b> 前	施	後域、 年 成果の方向:	域連携: 事業が一細細 施 筋 筋 筋 筋 筋 筋 筋 筋 筋 筋 が れ の れ の れ れ の れ れ れ れ れ れ れ れ れ れ れ れ	<b>重性分</b> を <b>施</b> を ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	性を増 のもの ・担等の	してい と 検討が ける	定義前年のでは、一方では、一方では、一方では、一方では、一方では、一方では、一方では、一方	C: B:	業見業が合しれた。向規値の必評ト価値るを性値に統要値整。見	が合、料定理番号	· 廃 010 後 た事	止の検 <b>A</b> 040137
H E C K ) 改革・改善の方向	題 総合評価 今後の方向	今後域名 前 成果の方	度	は重過割 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	要性をも分担等・改工	増してたの検言	いくと いうない すが必要 を う う う う う う う う う う う う う う う う う う	考えら、 よに 施 平	5れる。 先を見据 5。 状 況 価 ⑤ レ ⑥	未 実 前 ⑦ ⑨	施	後域、 年 成果の方向:	域連携は 事業が一部 細施 施 策 は拡 現 状維持	は 重通割 に 一位 を 一位	性を増めるのは、担等の	しと検討が	定義前年野るな必要に	の 上	業見業が合 レ れた。 向 価 レ 横し統要 価 整 。見	が合、併理理・据えて	· 廃 010 後 た事	止の検 <b>A</b> 040137
H E C K ) 改革·改	題 総合評価 今後の方向	今後連名 年 成果の方向	域連 業 (本 東 大 の は 、 現 、 の は 、 の は の は の は の の は の の の の の の の の の の の の の	は重過割 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	要性をも等	増してはの検算	いらな。 ますが必要 ますが必要 ます。 (2) (3) (4)	考えら、 る ような 。 施 · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	5れる。 先を見据 5。 状 (畑 (5) レ (6) (8) 現状維持	えた事業 <b>未 実</b> 前 ⑦ ③ ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	施	後域、 年 成果の方向:	域連携: 事業が一細細 施 筋 筋 筋 筋 筋 筋 筋 筋 筋 筋 が れ の れ の れ れ の れ れ れ れ れ れ れ れ れ れ れ れ	は 重通割 に 一位 を 一位	性を増めるのとは、おは、おは、おは、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、	しと <b>検</b> ける	定義前年野りな必要に	C : F t	業見業が合 レ れた。 向	が合、判理とは、特別を対しています。	· 廃 010 後 後 拡 拡	止の検 A )40137 <b>業設</b>
H E C K ) 改革・改善の方向性(	題 総合評価 今後の方向性	今広計 前 成果の方向性	度 細 拡 現状維	は重過割 ・	要性をも等	増しては一番策策	いらなめ 東 (2) (3) (4)	考えらな 施 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	5れる。 先を見据 5。 次 価 ⑤ 8 現状維持	えた事業 <b>未 前</b> ⑦ ③	施	後域、     有       成果の方向性	域連携に事 対の 他 無 拡 現 縮 休 廃 山	ま <b>連割</b> を	性を増めるの 担等の ち お し は は に お り に り に り に り に り に り に り に り に り に	しと 検討 ける 減 ス	定義前年野りのである。	C ) 「 度 す す た な の 方	業見業が合っれた。 向は一切状の関連の必評トは一個を大力をは、関するとは、関するは、関するとは、関するは、関するは、関するは、関するは、関するは、関するは、関するは、関する	が合、判理・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	(表)	止の検 A 240137 <b>業設</b> 大
H E C K ) 改革・改善の方向性(A	題 総合評価 今後の方向性 改	今広計 前 成果の方向性 続続 続続 (連絡) (記述) (記述) (記述) (記述) (記述) (記述) (記述) (記述	<b>域連</b>	事は重過割	要性をも等	増しては一番策策	いらなめ 東 (2) (3) (4)	考えらな 施 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	5れる。 先を見据 5。 状 (畑 (5) レ (6) (8) 現状維持	えた事業 <b>未 前</b> ⑦ ③	施 (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本)	後域、     す     成果の方向性     野       広携市     度     4	域連携に 一	は重要性分のでは、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般	性を増めるのとは、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、	しと検 け を 成 ス 等 が	定義前年のでは、一次では、一次では、一次では、一次では、一次では、一次では、一次では、一次	C D 度 すた の	業見業が合ってれた。の同では、大のし規直の必評トで価名を性では、一個では、大のし模し統要の価を整め、見り、生物では、大のしく、大のは、大のは、大のは、大のは、大のは、大のは、大のは、大のは、大のは、大のは	が合、判理と構成という。というでは、おは、おは、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は	(後) (後) (本事) ( (本事) ( (本事) ( ( ( ( ( ( ( ( ( ( ( ( ( ( ( ( ( ( (	止の検 A 040137 <b>業設</b> 大 E
H E C K ) 改革・改善の方向性(AC	題 総合評価 今後の方向性 改革	今広計 前 成果の方向性	<b>域連</b>	事は重過割	要性をも等	増しては一番策策	いらなめ 東 (2) (3) (4)	考えらな 施 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	5れる。 先を見据 5。 次 価 ⑤ 8 現状維持	えた事業 <b>未 前</b> ⑦ ③	施 f l l l l l l l l l l l l l l l l l l	後域、     年       成果の方向性     野し       場で	域連携に事 対の 他 無 拡 現 縮 休 廃 山	まって	性を増 の (で (で (で (で (で (で (で (で (で (で (で (で (で	しと検 けま 感 関地地	定義前前野といって、後期には、「は、「は、」では、」では、「は、」では、「は、」は、は、は、は、	C : 度	業見業が合う れたら。 向	が合、判理と構成という。というでは、おは、おは、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は	(後) (後) (本事) ( (本事) ( (本事) ( ( ( ( ( ( ( ( ( ( ( ( ( ( ( ( ( ( (	止の検 A 040137 <b>業設</b> 大 E
H E C K ) 改革・改善の方向性(ACTI	題 総合評価 今後の方向性 改革・	今広計 前 成果の方向性 続続 続続 (連絡) (記述) (記述) (記述) (記述) (記述) (記述) (記述) (記述	<b>域連</b>	事は重過割	要性をも等	増しては一番策策	いらなめ 東 (2) (3) (4)	考えらな 施 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	5れる。 先を見据 5。 次 価 ⑤ 8 現状維持	えた事業 <b>未 前</b> ⑦ ③	施 f l l l l l l l l l l l l l l l l l l	後域、     年       成果の方向性     野し       場で	域連携に 事計がの他 細 曲 拡現状緒 が、 が、 を が、 の を は が、 の の の の の の の の の の の の の の の の の の	まって	性を増 の (で (で (で (で (で (で (で (で (で (で (で (で (で	しと検 けま 感 関地地	定義前前野といって、後期には、「は、「は、」では、」では、「は、」では、「は、」は、は、は、は、	C : 度	業見業が合う れたら。 向	が合、判理と構成という。というでは、おは、おは、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は	(後) (後) (本事) ( (本事) ( (本事) ( ( ( ( ( ( ( ( ( ( ( ( ( ( ( ( ( ( (	止の検 A 040137 <b>業設</b> 大 E
H E C K ) 改革・改善の方向性(ACTIO	題 総合評価 今後の方向性 改革・改	今広計 前 成果の方向性 続続 続続 (連絡) (記述) (記述) (記述) (記述) (記述) (記述) (記述) (記述	<b>域連</b>	事は重過割	要性をも等	増しては一番策策	いらなめ 東 (2) (3) (4)	考えらな 施 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	5れる。 先を見据 5。 次 価 ⑤ 8 現状維持	えた事業 <b>未 前</b> ⑦ ③	施 f l l l l l l l l l l l l l l l l l l	後域、     年       成果の方向性     野し       場で	域連携に 事計がの他 細 曲 拡現状緒 が、 が、 を が、 の を は が、 の の の の の の の の の の の の の の の の の の	まって	性を増 の (で (で (で (で (で (で (で (で (で (で (で (で (で	しと検 けま 感 関地地	定義前前野といって、後期には、「は、「は、」では、」では、「は、」では、「は、」は、は、は、は、	C : 度	業見業が合う れたら。 向	が合、判理と構成という。というでは、おは、おは、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は	(後) (後) (本事) ( (本事) ( (本事) ( ( ( ( ( ( ( ( ( ( ( ( ( ( ( ( ( ( (	止の検 A 040137 <b>業設</b> 大 E
H E C K ) 改革・改善の方向性(ACTI	題 総合評価 今後の方向性 改革・改善	今広計 前 成果の方向性 続続 続続 (連絡) (記述) (記述) (記述) (記述) (記述) (記述) (記述) (記述	<b>域連</b>	事は重過割	要性をも等	増しては一番策策	いらなめ 東 (2) (3) (4)	考えらな 施 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	5れる。 先を見据 5。 次 価 ⑤ 8 現状維持	えた事業 <b>未 前</b> ⑦ ③	施 f l l l l l l l l l l l l l l l l l l	後域、     年       成果の方向性     野し       場で	域連携に 事計がの他 細 曲 拡現状緒 が、 が、 を が、 の を は が、 の の の の の の の の の の の の の の の の の の	まって	性を増 の (で (で (で (で (で (で (で (で (で (で (で (で (で	しと検 けま 感 関地地	定義前前野といって、後期には、「は、「は、」では、」では、「は、」では、「は、」は、は、は、は、	C : 度	業見業が合う れたら。 向	が合、判理と構成という。というでは、おは、おは、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は	(後) (後) (本事) ( (本事) ( (本事) ( ( ( ( ( ( ( ( ( ( ( ( ( ( ( ( ( ( (	止の検 A 040137 <b>業設</b> 大 E
H E C K ) 改革・改善の方向性(ACTION)	題 総合評価 今後の方向性 改革・改善策	今広計 前 成果の方向性 続続 続続 (連絡) (記述) (記述) (記述) (記述) (記述) (記述) (記述) (記述	域事業材の 度 細 拡 現 縮 休 広で 域い く	事は重過割	要性をも等	増した。	ではすが の ま	<b>考えうな</b> 施	5れる。 先を見据 5。 次 価 ⑤ 8 現状維持	えた事業 <b>前</b> ⑦ ⑨ ・ 前 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	施 f l l l l l l l l l l l l l l l l l l	後域、     前     成果の方向性     野しの県で広場市       広携市     度     4	域連携に 事計がの他 細 曲 拡現状緒 が、 が、 を が、 の を は が、 の の の の の の の の の の の の の の の の の の	ま - Q を	性を増 の (で (で (で (で (で (で (で (で (で (で (で (で (で	しと検 けま 感 関地地	定義前前野といって、後期には、「は、「は、」では、」では、「は、」では、「は、」は、は、は、は、	C : 度	業見業が合う れたら。 向	が合、判理と構成という。というでは、おは、おは、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は	(後) (後) (本事) ( (本事) ( (本事) ( ( ( ( ( ( ( ( ( ( ( ( ( ( ( ( ( ( (	止の検 A 040137 <b>業設</b> 大 E